

創立 100 周年と副館長が勧める百冊 + α

附属図書館副館長 柳澤輝行
(医学系研究科 分子薬理学分野教授)

平成 22 年の春、野家啓一館長と館員スタッフとの館長打ち合わせで、「来年の附属図書館創立 100 周年を記念して、館長と副館長が勧める百冊という企画はいかがでしょうか」、という提案がなされた。前年の秋から副館長を拝命し、図書館の種々の活動や調整に参画させてもらい、かつそれを楽しんでいた最中であつた。自分は少しは本を読んできた人間なので、ありがたい企画であると心ときめいた。

附属図書館は翌年の 3 月 11 日の大震災で、甚大な被害を受けながらも、館員と学生ボランティアの驚異的な尽力で復興をとげ、川内萩ホールで 10 月 5 日に創立 100 周年記念式典・講演会がとりおこなわれた。岡本宏名誉教授からの『種の起源』初版本の寄贈と講演などの本当に充実した式典になった。午後からの記念講演会は本学卒業生で作家の瀬名秀明氏に「科学と人間の未来、そして物語の力」をお願いした。『種の起源』の翻訳が新しくなったことにも触れていただき、震災からの復興に必要な物語の力を心を込めて述べられ、聴衆に感動が共鳴した。

「副館長が勧める百冊 + α 」のボードもその年の秋から年度をまたいで、数回に分けて 2 階の学生閲覧室に向かうコーナーに掲げられた。「時々学生さんが立ち止ってリストを見ているよ。」とうれしい声も聞いた。推薦しているものは学生や若い人向けで、基本的に自分の専門外の著書ですが、医学・薬理学の入門書も交じっています。皆さんの刺激になれば幸いです。何を読み、何に感動し、どう影響を受けるかは、その人の知、情、意の大きな要素となる。一方で、自分の楽屋裏をさらけ出すことになるので気恥ずかしさもあるのですが、このような副館長がいたという記録と記憶になればと考えて掲げます。 (平成 25 年 8 月 29 日)